

ルワンダ月報（2019年9月）

主な出来事

【内政】

- 16日、12名の議会上院議院が選出された。
- 女性郡長の割合が全体の33%となった。

【外政】

- 16日、キガリにて、ルワンダ・ウガンダ関係修復のための第1回委員会会合が開催された。
- 16日、東アフリカ・ビジネス評議会（EABC）がルワンダを訪問した。
- 16日、ルワンダにて、ガシュンバ保健大臣とロンゴンド・コンゴ（民）保健大臣が、エボラ感染拡大対策に関する会合を開催した。
- 23日、カガメ大統領は、ニューヨークで開催された第74回国連総会のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ・ハイレベル会合にて演説した。
- 2020年6月22日から、コモンウェルス首脳会合（CHOGM）がキガリで開催される。
- 20日、イスラエルのビザ・観光センターがキガリに開設した。（22日）

【経済】

- 16日、ルワンダ国家統計機関（NISR）は、2019年第2四半期の経済成長率が12.2%であったと発表した。
- 10月～2月、米国大使館は、女性起業家向け講習会を開講する。

【その他】

- 10日、ルワンダ政府は、アジスアベバにて、500人のリビアからの難民受入れに関する合意書に署名した。
- 2020年2月、ルワンダはドローン活用に関するシンポジウムを開催する。
- 11日、中国の教育省関係者がルワンダ北部県ムサンゼの高等技術専門学校（IPRC-Musanze）を訪問した。
- 26日、リビアからのアフリカ難民・庇護希望者75人がルワンダに到着した。

※以下は、明示したものを除き、ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事を取りまとめたもの。

【日・ルワンダ関係】

・ルワンダ人アスリート20人の日本でのトレーニング（14日）

2018年5月にルワンダ・オリンピック・スポーツ委員会（RSOSC）と岩手県八

幡平市で結んだ覚書に基づき、ビーチバレー、自転車競技を含むルワンダ人アスリート20人が、7月に八幡平市で3週間のトレーニングを行った。現時点で2020年東京オリンピック出場が決定しているのは、男子フルマラソンのムヒチラ（Felicien MUHITIRA）選手のみである。

・ 女子シッティング・バレーボール・チームの東京パラリンピック出場決定（18日、24日）

17日の女子シッティング・バレーボールのアフリカ大会において、ルワンダ・チームの2020年東京パラリンピック出場が確定した。

・ 女子シッティング・バレーボール・チームの沖縄トレーニング（27日）

来年の東京パラリンピックに向けて、ルワンダの女子シッティング・バレーボール・チームは11月に沖縄で3週間のトレーニングを行う。このトレーニングは、2020年1月にモロッコで開催されるアフリカ・パラリンピック大会に向けた練習も兼ねる。また、同チームは、11月12～17日に日本で開催される世界スーパー6トーナメントにアフリカ代表として出場する。

【内政】

・ 12名の議会上院議院の選出（17日）

16日、キガリ市及びルワンダ4県の議会上院議院の選挙が行われ、58名の立候補者から12名が選出された。そのうち4名が女性議員である。ルワンダの議会上院は26名で構成される。

・ 女性郡長の割合の増加（28日）

9月初旬の選挙結果、全国30郡における女性郡長の割合が33%となり、昨年同期の23.3%から10%増加した。

【外政】

・ ルワンダ・ウガンダ関係修復のための委員会開催（16日）

16日、キガリにて、ルワンダ・ウガンダ関係修復のための第1回委員会会合が開催され、関係修復のための行動についてのコミュニケを発表した。

・ 東アフリカ・ビジネス評議会（EABC）の開催（17日）

16日、東アフリカ・ビジネス評議会（EABC）メンバーが東アフリカ共同体（EAC）議長であるカガメ大統領を訪問した。EABCは、同地域の民間セクター運営委員会の傘下機関であり、11月にタンザニアで首脳会合の際に開催予定のビジネス・サミットにカガメ大統領を招待した。

・ エボラ感染拡大対策に関するルワンダ・コンゴ（民）保健大臣会合（18日）

16日、コンゴ（民）と国境を隣接するルワンダ側北西部のルバブにおいて、ガシュンバ保健大臣とロンゴンド・コンゴ（民）保健大臣は、8月に両国間で合意されたエボラ・

ウィルスの流行防止とコントロールのための合同委員会の進捗確認を目的として、エボラ感染拡大対策に関する会合を開催した。

・ イスラエルのビザ・観光センターの開設（22日）

20日、キガリにイスラエルのビザ・観光センターが開設した。4月1日に在ルワンダ・イスラエル大使館が開設し、6月26日にビザ発給を開始して以来、250人のルワンダ人のビザが発給された。

・ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ・ハイレベル会合でのカガメ大統領の演説（23日、24日）

23日、カガメ大統領は、第74回国連総会の際に開催されたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ・ハイレベル会合にて演説した。同大統領は、各村に2人配置されている地域ヘルス・ワーカーを4人に増やす、最寄りのヘルス・センターまでのアクセスを徒歩25分以内にするというルワンダの取組を紹介した。なお、ルワンダでは、13歳以下の女子の93%がヒトパピローマ・ウイルス（HPV）ワクチンを摂取している。

・ コモンウェルス首脳会合（CHOGM）のルワンダでの開催予定（26日）

カガメ大統領とスコットランド（Patricia SCOTLAND）コモンウェルス事務総長は、2020年6月22日から、キガリ・コンベンション・センター（KCC）にて、「共通の未来を届ける：Connecting, Innovating, Transforming」と題するCHOGMを開催すると発表した。

【経済】

・ ルワンダ航空ドバイ線の乗客率及び貨物率の増加（1日）

今年7月までの7か月間で、ルワンダ航空のドバイ線は、乗客率が17%、貨物率が38%増加した。昨年1～7月に2万人だったドバイ、キガリ間のルワンダ航空利用客数は、今年同期には、乗客数が2万4,000人、貨物量は280トンであった。

・ 電子世界貿易プラットフォーム（eWTP）の加盟延長（9日）

ルワンダ開発庁（RDB）は、アリババ・グループが主導する電子世界貿易プラットフォーム（eWTP）の加盟を今後3年間継続する。また、アリババ・グループは、国境を越える電子商取引を学ぶルワンダ人学生のための4年間の研修プログラムを開始する。

・ 第2四半期における経済成長（17日、18日）

ルワンダ国家統計機関（NISR）は、2018年第2四半期に6.7%であった経済成長率が、今年同期は2桁成長の12.2%であったと発表した。建設業が最も顕著であり32%の成長となった。これは、キガリ・アリーナやブゲセラ国際空港など政府主導の巨大プロジェクトと民間セクター主導の複数の活動にけん引されたものである。また、金属及び非金属（主にセメント）の建設素材、化学薬品、プラスチック製品などの成長により、工業分野が16%成長した。

・ OPECによる給水施設建設のための借款（26日）

25日、ルワンダは、ムハンガ、カモニ、ルハンゴ、ニャンザの4県において2つの給水施設を建設し、給水の促進及び衛生プロジェクトを拡大するプロジェクトについて、OPEC国際開発基金（OFID）との間で2,000万米ドルの譲与的借款を契約した。同借款は、年間利率が1.25%の20年ローンであり、ルワンダ政府は、負債返済の前に5年間の猶予期間が与えられる。

・米国大使館における女性起業家向け講習会の開講（23日：RNA）

10月17日から2020年2月20日まで、米国大使館は、女性の起業支援を目的とする女性起業家向け講習会（AWE）を同大使館にて開講する。同講習会では、18～35歳までのルワンダ人女性が、個人向けのビジネス指導、専門的知識、ツールやネットワークの活用について学ぶことができる。8か月のプログラムで、毎週の講習に参加可能な6～12か月のビジネス経験を持つ女性起業家を受講対象とする。

【その他】

・リビアからのアフリカ人難民500人の受入れ予定（10日）

10日、ルワンダ政府は、アジスアベバにて、アフリカ連合（AU）及びUNHCRとの間で、リビアの難民キャンプに居住する500人のアフリカ人難民を受け入れるための合意書に署名した。

・ドローン活用に関するシンポジウム開催の予定（12日）

2020年2月、ルワンダは、ドローン活用に関するシンポジウム、博覧会、飛行コンテストなどを含む会合を主催する予定である。

・中国教育省による職業訓練 Luban Workshops の設立計画（13日）

11日、中国教育省関係者は、ルワンダ北部県ムサンゼの高等技術専門学校（IPRC-Musanze）を訪問し、アフリカ9か国で予定している Luban Workshops の設立の受入れについて協議した。Luban Workshops は、鍛錬された技術を提供するためのセンターであり、学生の専門家意識及び実践能力と創造性を育むことに特化している。中国政府は、技術及び職業教育を向上させるために、各 Luban Workshops に毎年700万米ドルを投資する。

・2025年自転車競技世界大会開催国への立候補（13日）

ルワンダは、2025年の国際サイクリング連合（UCI）自転車競技世界大会のホスト国に立候補した。実現すれば、ルワンダはアフリカで同大会初の開催国となる。

・難民対象の電子金融サービス教育プロジェクト（15日）

ルワンダ緊急事態省とUNHCRは、2020年までに、ルワンダに居住する3,000人以上の難民を対象として、貯金、ローンの授受と管理における電子金融サービス教育を含む2年間のプロジェクトを実施する。同プロジェクトは、マハマ、キゲメの難民キャンプのパイロット・プロジェクトとして36万6,905米ドルが投資される。

・リビアからの75人のアフリカ人難民・庇護希望者のルワンダ到着（26日）

26日、リビアからのアフリカ人難民及び庇護希望者の第1グループ75人がルワンダ

に到着し、キガリ郊外のガシヨラ（Gashora）トランジット・センターに入居した。これに先立つ24日、カガメ大統領は、ニューヨークで開催された国連総会の演説にて、「ルワンダは、リビアのキャンプ地からの難民及び庇護希望者を受入れ保護する用意がある。UNHCRの支援に感謝する。」と述べた。

（了）